

もっこくの風

さいたま市立見沼小学校
生徒指導部だより No.7
平成26年11月26日(水)

2学期も残すところあと1か月となりました。駅伝大会や校内マラソン大会などの大きな行事も一段落して、学校では落ち着いた生活ができる時期になりました。このような時期には、集中して学習に臨み、しっかりと基礎・基本を身に付けたいものです。また、生活面では、本校が掲げている「あいさつ・時間・はきもの」の3つの実践目標を子どもたちにしっかり身に付けさせていきたいと考えています。

生活目標

11月の
目標は…

周りへの 感謝の気持ちを表そう

具体的な指導内容

- お世話になった人への感謝の気持ち
- 心に響くあいさつ、返事

今月は、感謝の会・音楽会が8日(土)に行われ、児童は日頃お世話になっている地域の方々へ感謝の気持ちを表しました。23日(日)の「勤労感謝の日」も合わせて、周りで支えていただいている方々に目を向けさせ、普段から感謝の気持ちが表せるよう指導しています。

また、4日(火)には、生活目標について講話を行い、2年1組の児童が「どんな方にどんな感謝の気持ちを伝えたいか」考えたことを発表してくれました。



いじめ防止シンポジウム開催!

11月19日(水)

さいたま市の市立小・中・高等・特別支援学校の代表児童生徒、教職員、保護者、地域団体、関係行政機関が一堂に会し、全市を挙げて、いじめの問題を考える「いじめ防止シンポジウム」が開催されました。

見沼小からは、計画委員の児童2名が参加し、以下のようなプログラムを通して、いじめの問題について考えました。

平成26年度 いじめ防止シンポジウム プログラム

○児童生徒による実践的な取組の発表

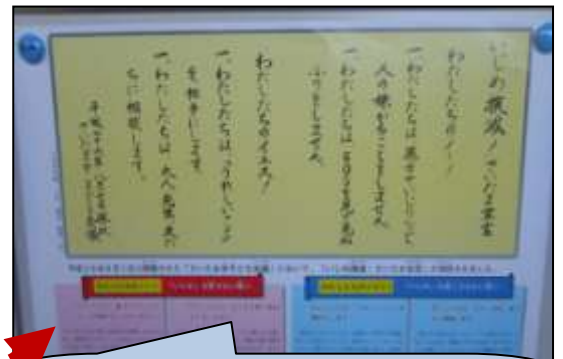
- ①中学生が小学生に向けたメッセージの発表
～この思い届け!メッセージビデオの作成～
- ②お互いの良さを認め合う交流活動の発表
～朝のあいさつ運動、交流活動を通して～

○三室中学校演劇部による劇の発表

タイトル「心の声」

(さいたま市中学校演劇発表会中央大会 最優秀賞・県知事賞)

○「いじめ撲滅!さいたま宣言」宣誓 他



「もっこくの風 9月号」で紹介しました「いじめ撲滅!さいたま宣言」が立派なポスターになりました。各学級に掲示してあります。



↑さいたま市民会館おおみやで行われたいじめ防止シンポジウムの様子



私は、改めていじめはしてはいけないことだと実感しました。見沼小でいじめが起きてほしくないので、児童会長として、いじめが起きないように努力していきたいです。

リアルな劇を見て「いじめは許されるものではない」「やってはだめだ」と感じました。見沼小で、もしこのような事があたら声を掛けてあげたいです。今回のシンポジウムに参加して、改めていじめをなくそうと心に決めました。

見沼小 3つの実践目標の達成に向けて

見沼小には、右のような3つの実践目標があり、達成に向けた様々な取組を年間を通して行っています。「もっこくの風」で度々取り上げている「あいさつ」もその一つです。

今回は、「あいさつ」以外の「時間」「はきもの」をテーマに特集してみました。

3つの実践目標

- 1 あいさつをする子
(心を潤す4つの言葉の実践)
- 2 時間を守る子
- 3 はきものをそろえる子
(かかとをつける)

「時間を守る子」について

学校は、集団生活の基礎を身に付ける場です。集団生活において、時間を守ることは必須のスキル！ 普段のお子さんの学校での様子を聞いてチェックしてみてください！

10項目中チェックが付いた項目数が…

- 0～4個… まだまだ「時間を守る子」になれません。頑張りましょう。
- 5～8個… 「時間を守る子」に近付いています！ その調子！！
- 9～10個… すばらしい！ 「時間を守る子」達成です！！

残念!

日没が早くなり、地域の方から「暗い中、公園などで遊ぶ子がいて心配です。」という声をいただくようになりました。見沼っ子は暗くなる前に家に帰りましょう！

- <登校班の集合>
 - 班に迷惑をかけないように、遅れずに集合場所にいる。
- <登校>
 - 7：50～8：00に登校できている。
- <授業開始>
 - 授業開始時に席についている。
 - 授業開始時にその時間の学習の準備ができています。
- <休み時間>
 - 予鈴のチャイムで遊びをやめている。
- <給食>
 - 「ごちそうさま」までに食べ終えている。
- <清掃>
 - 13：15に始めて、13：30まで清掃している。
- <下校>
 - 月曜日は15：00、他の曜日は16：00までに下校できている。
- <放課後>
 - 4～9月は17：30、10～3月は16：30までに帰宅している。
- <提出物>
 - 宿題など、期限を守って提出している。



「はきものをそろえる子」について



本校では、児童が使うトイレにサンダルを置き、普段はいている上履きからはき替えるようになっていきます。これは、教室や廊下、体育館などが汚れないようにという配慮からです。

しかし、児童の生活が乱れてくると、トイレのサンダルも乱れ、学校の悩みの種になることがあります。本校では、次のような取組を行い、トイレのサンダルがいつもきれいにそろって、次に使う人が気持ちよく使えるようにしています。

クラスで

●「トイレのサンダル見回り隊」

各学年の児童が自分たちの使うトイレを休み時間などに見回り、乱れていれば整頓します。

普段から、一人ひとりが次に使う人のことを考えて、かかとをそろえて出れば、いちいち整頓の必要はなくなり、気持ちよくサンダルを使えるようになりますね！

掲示で

●「はきものをそろえる」

校内に、円福寺住職 藤本幸邦さんの詩「はきものをそろえると 心もそろろう」を掲示して、昇降口ではき替えやトイレのサンダルを使ったときに、次の人が気持ちよく使える配慮ができるよう指導しています。

はきものをそろえよう！

家庭でも、玄関などのはきものをそろえを意識させてください！



10月29日(水)、教育委員会指導2課の方をお招きして行われた生徒指導訪問では、整理整頓の行き届いた下駄箱の様子について「見沼小の児童が落ち着いているのは、下駄箱を見れば分かります。」と褒めていただきました。